

## 米国政権交代とサイバーセキュリティ政策

土屋大洋

### 1. トランプ政権と米露問題

- ・ トランプは二人いる。
- ・ トランプ政権における宮廷派と外様閣僚の権力闘争？
- ・ サイバーセキュリティはスパイの世界
- ・ 2016年米国大統領選挙への介入
- ・ ロシアにとっての「情報」戦争：ヒラリー・クリントンによるロシア体制批判、パナマ文書、ドーピング暴露

### 2. アトリビューション（所属、帰属）問題

- ・ 本当にサイバー攻撃者は分からないのか？
- ・ 2012年10月25日、米ニューヨークタイムズ紙：温家宝中国首相一家が秘密の蓄財
- ・ 2013年2月19日、同紙：上海のビルが中国人民解放軍61398部隊の拠点
- ・ 2014年5月19日、米司法省：人民解放軍5人の将校を訴追
- ・ 2014年12月、米FBI：映画『インタビュー』問題は北朝鮮政府に責任

### 3. ハイブリッド攻撃とクロスドメイン攻撃

- ・ サイバー戦争？
- ・ 作戦領域の変化：陸、海、空←宇宙、サイバースペース
- ・ ハワイにいたエドワード・スノーデン
- ・ クロスドメイン攻撃

### 4. 東京オリンピック・パラリンピックとアトリビューション

- ・ 18カ月前に準備を整えたロンドン・オリンピック
- ・ NSA（米国国家安全保障局）とGCHQ（英国政府通信本部）の協力
- ・ トマス・リッド「サイバー攻撃者を見つけられないと常に考えるのは間違いだ。」
- ・ 日本におけるNSAやGCHQのカウンターパートは？
- ・ もう一つの憲法問題：第21条第2項「通信の秘密は、これを侵してはならない。」
- ・ 東京五輪は2019年1月までに準備を。
- ・ 不透明なトランプ政権のサイバーセキュリティ政策 → 日米協力は期待できるか？

## 5. サイバーセキュリティと国際政治

- ・ インテリジェンス能力（特に SIGINT）が不可欠
- ・ アトリビューションが抑止の鍵
- ・ クロスドメイン作戦能力の向上を

### 参考文献

- ・ マルク・エルスベルグ、(猪股和夫、竹之内悦子訳)『ブラックアウト（上・下）』（角川文庫、2012年）。
- ・ P・W・シンガー&オーガスト・コール（伏見威蕃訳）『中国軍を駆逐せよ！（上・下）』（二見書房、2016年）
- ・ 土屋大洋監修『仮想戦争の終わり』（KADOKAWA、2014年）。
- ・ 土屋大洋『サイバーセキュリティと国際政治』（千倉書房、2015年）。
- ・ 土屋大洋『暴露の世紀』（角川新書、2016年）。